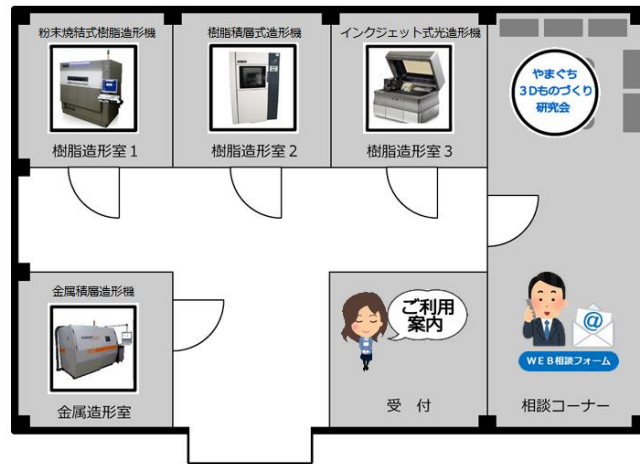
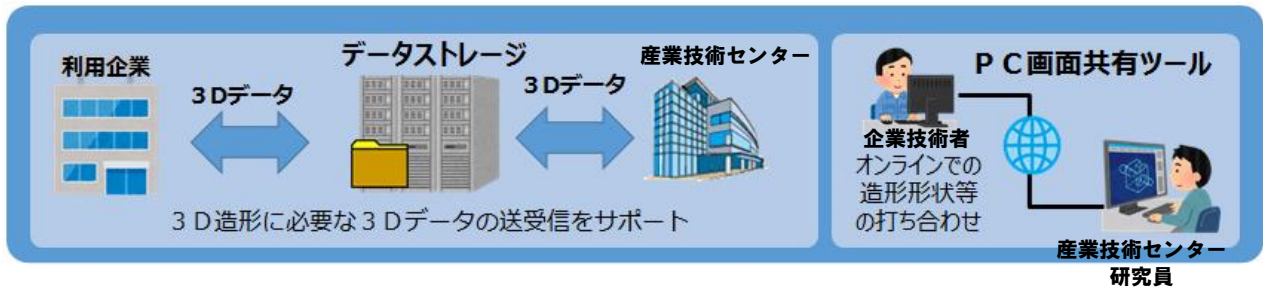


<参考>



バーチャル3Dものづくり支援センターのホームページ(一部)  
 (ホームページから機器情報の入手、造形に関する相談・依頼が可能です)



バーチャル3Dものづくり支援センターの機能

利用可能な3Dプリンター	材 料	造形サイズ	主な特長
粉末焼結式樹脂造形機	ナイロン、ポリプロピレン、耐熱樹脂	280×280×370 [mm] (幅×奥行×高さ)	サポート材を使用しないため、複雑な形状の造形が可能。
金属積層造形機	ステンレス、アルミ、チタン、マルエージング鋼、青銅	280×280×370 [mm] (幅×奥行×高さ)	金属粉末材料を積層していくことで、従来の除去加工では難しい複雑な形状の造形が可能。
樹脂積層式造形機	ポリカーボネート	280×280×370 [mm] (幅×奥行×高さ)	強度・耐久性のあるポリカーボネイトを使用し、造形時の収縮や変形も少ない。
インクジェット式光造形機	アクリル系光硬化樹脂	280×280×370 [mm] (幅×奥行×高さ)	積層ピッチが28μmと小さく、造形モデルの品質が高い。ただし材料の耐久性は低い。
機械設計支援システム (構造最適化)	—	—	構造・機構等の現象について、目標とする重量や剛性等や制約条件(変位、応力等)に応じた最適形状についてシミュレーションが可能。

バーチャル3Dものづくり支援センターで利用可能な3Dプリンター等